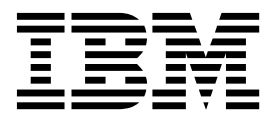


バージョン 10 リリース 0
2016 年 6 月

IBM Marketing Platform リリ ース・ノート

The IBM logo, consisting of the letters "IBM" in a bold, black, sans-serif font. Each letter is composed of horizontal stripes, with the "I" having 7 stripes, the "B" having 8 stripes, and the "M" having 9 stripes.

注記

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、15 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Marketing Platform バージョン 10 リリース 0 モディフィケーション 0、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： Version 10 Release 0
June, 2016
IBM Marketing Platform Release Notes

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 1996, 2016.

目次

第 1 章 IBM Marketing Platform バージョン 10.0 について	1	プライバシー・ポリシーおよび利用条件に関する考慮事項	17
バージョン 10.0 の新機能と変更点	1	IBM 技術サポートに連絡する前に	19
第 2 章 修正された問題	5		
第 3 章 既知の問題	9		
第 4 章 既知の制限	11		
第 5 章 サード・パーティーのソフトウェアに関連した問題	13		
特記事項	15		
商標	17		

第 1 章 IBM Marketing Platform バージョン 10.0 について

このセクションでは、Marketing Platform バージョン 10.0 に導入された新機能および変更点について説明します。

完全なシステム要件と互換性情報が見つかる場所

この製品と互換性のある IBM® Marketing Software 製品のバージョンのリストおよびこの製品に対するサード・パーティー要件のリストについては、「推奨されるソフトウェア環境と最小システム要件」という文書を参照してください。この文書は、IBM サポート・ポータル Web サイト (<http://support.ibm.com>) の『詳細なシステム要件 (Detailed System Requirements)』の下に掲載されています。

IBM Marketing Software にログインした後、「ヘルプ」>「製品資料」を選択することによって、この文書にアクセスすることもできます。

バージョン 10.0 の新機能と変更点

新機能の詳細については、「*IBM Marketing Platform 10.0 管理者ガイド*」を参照してください。

SAML 2.0 シングル・サインオン

SAML 2.0 IdP サーバーを使用して、シングル・サインオン・ログイン・モードを構成できるようになりました。

必要な構成プロパティとメタデータ・ファイルをセットアップすると、Marketing Platform のログイン・ページからログインしようとしたユーザーは、管理者の組織の SAML 2.0 Identity Provider (IdP) サーバーによって認証されます。

構成プロパティ「認証されたユーザーを Marketing Platform に追加する (Add authenticated users to Marketing Platform)」を使用すると、認証されたユーザーに Marketing Platform アカウントがない場合に、その Marketing Platform アカウントを自動生成できます。これらのユーザーは、デフォルトのユーザー・グループである **ExternalUsersGroup** に自動的に追加されます。このグループは、最初は **PlatformUser** 役割のみを持っています。あるいは、ユーザーを追加するカスタム・グループを指定することもできます。

「認証されたユーザーを Marketing Platform に追加する (Add authenticated users to Marketing Platform)」プロパティが有効でない場合、ユーザーがログインするためには、Marketing Platform アカウントが必要です。

IBM Marketing Software スケジューラーの使いやすさの向上

スケジューラーのユーザー・インターフェースとフィーチャーが拡張され、使いやすさが向上しています。

- スケジューラーが外部の API とスクリプトの呼び出しを処理できるようになりました。

- 「スケジュール」管理ページからシステム・アラートと通知をスケジュールできます。

これらのアラートと通知は、作成したテキストを入れたものであり、スケジュールしたタスクに対して作成する通知とは無関係です。例えば、保守のための計画停止についてのシステム・アラートを出し、IBM Marketing Software にログインしたすべてのユーザーに表示したりできます。

- 拡張フィルターを使用して、スケジュールと実行のリストをフィルタリングできます。
- 「スケジュール」管理ページから、サポートされるすべてのオブジェクトについて、スケジュールの作成を開始できます。

必要に応じて、該当する製品のランディング・ページが開くので、そこでオブジェクトを選択してスケジュールを作成できます。

IIS プロキシを介した Windows 統合ログイン

前のバージョンの Marketing Platform では、NTLMv1 ベースの Microsoft Windows 統合ログインがサポートされていました。Microsoft Windows 2008 Server と Microsoft Windows 7 の登場により、デフォルトの最小基準が変更され、NTLM v2 プロトコルが必要になりました。

NTLM v2 は、Marketing Platform でネイティブにサポートされるものではありません。Microsoft Internet Information Services (Windows 2008 Server のコンポーネント) を使用して NTLM v2 を構成する手順を含むように、資料が更新されました。このソリューションは、既にリリースされた IBM Marketing Software 製品のバージョンにも使用可能です。

WebSense を使用して Digital Analytics と Campaign を統合するためのカスタム・プロキシ

Marketing Platform には、WebSense が環境の必須コンポーネントである場合に、オンプレミスでホストされる Campaign とクラウド内の Digital Analytics の間の統合を可能にするためのカスタム・プロキシが用意されています。

カスタム・プロキシは、フォワード・プロキシとして機能する Java サーブレット実装です。これは、Campaign リスナーと Digital Analytics の間に導入されます。

カスタム・プロキシをインストールすると、シングル・サインオンおよび Digital Analytics と Campaign の間の統合を構成できます。

このカスタム・プロキシは、WebSphere Application Server でのみサポートされます。

カスタム・ダッシュボード・ポータルホワイトリスト

ダッシュボードのセキュリティを強化するために、カスタム・ダッシュボード・ポータル用のホワイトリスト機能が追加されました。これにより、不要な URL をダッシュボードに追加できないようにして、クライアント側でダッシュボードのロード時にマルウェアが実行されることを防止できます。

カスタム・ポートレットを作成するときに、以下の追加ステップを実行してください。

- ホワイトリストに指定するポートレットの URL を Platform_Admin_URL.properties ファイルに追加します。このファイルは、Marketing Platform インストール済み環境の conf ディレクトリーにあります。
- Marketing Platform Web アプリケーションを停止してから再始動します。

Web アプリケーション・サーバーのシステム・テーブル・データ・ソース接続を作成するためのインストール時の新規オプション

Web アプリケーション・サーバーの Marketing Platform システム・テーブルへの接続を、インストーラーに作成させることができます。インストール時のデータ・ソース自動作成を有効にするには、「データ・ソース作成」パネルで「**Marketing Platform** データソースの作成」チェック・ボックスを選択し、アプリケーション・サーバーに関する情報を指定します。

- インストーラーによって、JNDI 名として「UnicaPlatformDS」を使用したデータ・ソースが作成されます。
- WebLogic を使用する場合は、インストーラーによってデータ・ソースが作成されるようにしてあっても、JDBC ドライバーを手動で Web アプリケーション・サーバーのクラスパスに追加する必要があります。WebSphere の場合は、これをインストーラーが自動的に行います。

「構成」プロパティのコンテキスト・ヘルプ

「設定」 > 「構成」で構成プロパティを表示すると、「ヘルプ」 > 「このページのヘルプ」を選択してコンテキスト・ヘルプを表示できます。例えば、「キャンペーン | キャッシュ」ページのヘルプを要求すると、すべてのキャッシュ・オプションを具体的に説明するヘルプ・トピックが表示されます。この機能を使用するにはインターネット接続が必要です。

Marketing Platform、Campaign、Interact、および Contact Optimization 用の機能拡張されたユーザー・インターフェース

このリリースでは、使いやすいようにユーザー・インターフェースが更新され、無駄のない現代的なデザインになり、改善されたインライン・テキストとエラー・メッセージが提供されています。外観が変わっても製品の機能は変わりません。最新の資料は「ヘルプ」メニューから入手できます。

アップグレード・パス

バージョン 10.0 はメジャー・リリースであるため、8.6.x、9.0.x、または 9.1.x から単一ステップで直接アップグレードできます。説明については製品のアップグレード・ガイドを参照してください。

ブラウザー・セキュリティーのベスト・プラクティス

Internet Explorer で、「インターネット・オプション」の「セキュリティー」タブで「カスタム・レベル」をクリックし、「XSS フィルター」を有効にします。

第 2 章 修正された問題

このセクションでは、Marketing Platform バージョン 10.0 で修正された問題について説明します。

DEF 195923	Marketing Platform 監査機能を有効にすると eMessage エディターを開けませんでした。この問題は修正されました。
APAR 191593、DEF 189379	複数の実行を長期にわたってスケジュールすると、パフォーマンスが低下しました。この問題は修正されました。
APAR PO04930、DEF 190408	古いトリガーをベースとするスケジュールを削除すると、例外が発生しました。この問題は修正されました。
APAR PO04977、DEF 191457	多数のレコードが存在する場合に、「すべて」ページ編集リンクを選択したり、「最新表示」をクリックしたりすると、「スケジュールされたタスク」ページと「スケジュールされた実行」ページが無応答になっていました。この問題は修正されました。
PMR 77210、PMR 208366、PMR 206714、PMR 190824、PMR 191458	ソート、ページング、およびフィルタリングすると、「スケジュールされたタスク」ページと「スケジュールされた実行」ページの最新表示に時間がかかっていました。この問題は修正されました。
APAR PI35736、DEF 185447	マルチパーティション環境の Marketing Platform をレポート作成のために Cognos と統合した場合、ダッシュボード・ポートレットに、すべてのパーティションに対して partition1 のデータしか表示されませんでした。この問題は修正されました。
PMR 210697	スケジュールを編集すると、変更を保存したときにスケジュールが予期せず実行されました。この問題は修正されました。
APAR PO05741、DEF 210944	Marketing Platform の URL に対して XML 外部エンティティー (XXE) の脆弱性がありました。この問題は修正されました。
APAR PO05878、DEF 215727	ダッシュボード・ポートレットを編集するとクロスサイト・スクリプティング (XSS) アタックを実行される可能性がありました。また、「スケジュールされた実行」ページを介したオープン・リダイレクトの可能性もありました。この問題は修正されました。
APAR PO05732、DEF 210793	トリガーで実行するように構成されたスケジュールのスロットル・グループを変更すると、スケジュールが予期せずに実行されました。この問題は修正されました。
APAR PO05662、DEF 206810	SAML 2.0 ベースの統合認証を実装する場合は、Marketing Platform システム・テーブルに対して SQL スクリプトをいくつか実行する必要があります。エラーを引き起こしていた DatabaseScript_DB2.sql ファイルに構文エラーがありました。この問題は修正されました。
APAR PO05004、DEF 192037	Marketing Platform のナビゲーション URL 構成プロパティーを使用して永続的クロスサイト・スクリプティング (XSS) アタックを実行される可能性がありました。この問題は修正されました。

APAR PO05683、DEF 208130	SiteMinder と統合された環境では、Marketing Operations にログインした後にログアウトしたユーザーが、正しい認証を受けずに「不明なユーザー」として Marketing Operations に戻されていました。この問題は修正されました。
APAR PO05712、DEF 210187	クロスサイト・リクエスト・フォージェリーの脆弱性がありました。この問題は修正されました。
APAR PO05621、DEF 205746	Oracle のフェイルオーバー JDBC 接続ストリングを使用できませんでした。Oracle の長いフェイルオーバー URL は、Marketing Platform の JDBC 接続には使用できませんでした。 コードが変更され、システムは以下の JVM パラメーターから JDBC 情報を読み取れるようになりました。同じ Marketing Platform データベースを共有するすべての JVM に、これらのパラメーターを追加してください。 -DUNICA_PLATFORM_DB_HOSTNAME=Marketing_Platform_database_host -DUNICA_PLATFORM_DB_PORT=Marketing_Platform_database_port -DUNICA_PLATFORM_DB_DBNAME=Marketing_Platform_database_name 注: ホスト名として任意の値を使用できます。この名前は、Marketing Platform データベースを識別するために内部で使用されます。
機能強化 204263	SAML 2.0 プロトコルを使用したシングル・サインオンが Marketing Platform に追加されました。
APAR PO05004、DEF 193847	IBM Marketing Software スケジューラーの「ジョブ通知の編集」ウィンドウを使用して永続的クロスサイト・スクリプティング (XSS) アタックを実行される可能性があります。この問題は修正されました。
APAR PO05296、DEF 198529	アプリケーションで古い通知を削除しようとする、健全性制約エラーのために、電子メールによる通知が機能を停止していました。この問題は修正されました。
機能強化 192486、PMR 192256	フィールド・マーケティング担当者としてログインした Distributed Marketing ユーザーがオンデマンド・キャンペーンを実行しようとする、Campaign で「この操作を実行するには適切な権限が必要です」というエラーが生成されました。この問題は修正されました。
APAR PO05412、DEF 200922	LDAP サーバーからインポートされた外部ユーザー用のユーザー詳細フィールドは読み取り専用でなければなりません、ユーザーがデータを追加可能でした。それらの変更を保存することもできました。この問題は修正されました。
APAR PO05117、DEF 194371	アプリケーションに、クリック・ジャック保護がありませんでした。アタッカーは、ユーザーをだましてクリックさせ、不要な要求を呼び出させることができました。この問題は修正されました。
APAR PO05120、DEF 194413	ダッシュボードで作成した Cognos レポート・カスタム・ポートレットが、Chrome ブラウザーでブランク表示になっていました。この問題は修正されました。
APAR PO05246、DEF 197664	campaignweb.log に定期的に 1717 エラー・メッセージがスローされました。この問題は修正されました。
PMR216025	Campaign フローチャートのロードに時間がかかっていました。この問題は修正されました。

PMR 51165	IBM Marketing Software スケジューラーの「スケジュールされたタスク」ページにクロスサイト・スクリプティングの脆弱性がありました。このページでは、ユーザーが入力した内容が、検証もエンコードもされずに、HTML 応答の一部としてブラウザに返されていました。この問題は修正されました。
-----------	--

第 3 章 既知の問題

このセクションでは、Marketing Platform バージョン 10.0 の既知の問題について説明します。

<p>複数のシングル・サインオン・ユーザーに渡って、IBM SPSS® Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition セッションが持続する</p>	<p>DEF 67409</p>	<p>シングル・サインオンが有効になったアカウントを使用して Marketing Platform から IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition にアクセスし、ログアウトせずに IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition ブラウザーを閉じると、同じブラウザーからシングル・サインオンを使用して IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition にログインする他のすべてのユーザーが、最初のユーザーのセッションでログインしてしまいます。</p> <p>別の EMM ユーザーと コンピューターおよびブラウザーを共有しており、両方のユーザーがシングル・サインオンを使用して IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition にアクセスする場合は、モデリング・ストリーム・ウィンドウを閉じる前に、IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition から ログアウトする 必要があります。そうすることで、同じブラウザーを使用して IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition にアクセスする他のユーザーに、自分の IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition 資格情報を 利用されないようにすることができます。</p>
<p>バージョン 10.0 にアップグレードすると、ホーム・アイコンと封筒のアイコンが表示されないことがある。</p>	<p>DEF 221074</p>	<p>ホーム・アイコンと封筒のアイコン (システム通知用) は SVG 形式です。これらが表示されない場合は、次の MIME タイプを Web アプリケーション・サーバーに追加してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • WebLogic: <code>svg=image/svg+xml</code> を追加します。 • WebSphere: <code>image/svg+xml</code> を MIME タイプとして追加し、<code>svg svgz</code> を拡張子として追加します。

第 4 章 既知の制限

このセクションでは、Marketing Platform バージョン 10.0.0 の既知の制限について説明します。

外部ユーザーの自動同期に対する制限		<p>IBM Marketing Software を Windows Active Directory または LDAP サーバーと統合するように構成した場合、ユーザーとグループは事前定義された間隔で自動的に同期されます。この自動同期の機能は制限されています。</p> <p>自動同期では、ユーザー属性のみが更新されます。グループ・メンバーの追加、削除、変更などのグループ・メンバーシップの変更は管理者が管理する必要があるため、それらの変更をインポートするには、デフォルトでは、手動同期プロセスを使用するしかありません。</p> <p>IBM Marketing Software の「ユーザー」領域の「同期化」機能を使用すると、すべてのユーザーおよびグループの完全同期を強制することができます。追加の構成は不要です。</p> <p>ただし、隠し構成プロパティを使用して、グループ・メンバーシップの変更を自動同期プロセスに組み込むこともできます。詳しくは、IBM サービスにお問い合わせください。</p>
管理ユーザーは、自分の権限を編集できます	DEF 184911	<p>Marketing Platform AdminRole を持つユーザー (asm_admin ユーザーなど) は、自分のアカウントに PlatformAdminRole を追加できます。これにより、アクセス権限の対象が全パーティションに拡大します。これは、管理権限を持つユーザーが自分の権限を編集できるようにするための許可の問題です。</p>

第 5 章 サード・パーティーのソフトウェアに関連した問題

このセクションでは、サード・パーティー・ソフトウェアに関連する Marketing Platform バージョン 10.0 の問題について説明します。

<p>60 分を超える間隔で IBM Marketing Software スケジューラー・タスクをスケジュールできない</p>	<p>DEF 130030</p>	<p>CRON 式を使用する場合、60 分で「時間」が変更になるため、59 分より長い間隔を構成することはできません。同様に、反復タスクに 70 分や 74 分を指定することもできません。対処方法としては、同一のオブジェクトに対して、開始時刻をずらした 2 つのスケジュールを指定します。</p> <p>例えば、フローチャートの実行間隔を 90 分に指定したいとします。その場合、次のように 2 つの反復スケジュールを設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • スケジュール A <ul style="list-style-type: none"> - 開始時刻: 午前 7:00 - 間隔: 3 時間 <p>このスケジュールによって、フローチャートは午前 7:00の次は午前 10:00 に実行され、その後も同様の間隔で実行されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • スケジュール B <ul style="list-style-type: none"> - 開始時刻: 午前 8:30 - 間隔: 3 時間 <p>このスケジュールによって、フローチャートは午前 8:30 の次は午前 11:30 に実行され、その後も同様の間隔で実行されます。</p>
<p>ユーザー名に非 ASCII 文字が含まれているユーザーは、シングル・サインオンを使用して IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition にログインできない</p>	<p>DEF 131626</p>	<p>現時点で、この問題の対処方法はありません。</p>

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation B1WA LKG1
550 King Street
Littleton, MA 01460-1250
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については検証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することが

できます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

商標

IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://www.ibm.com) は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

プライバシー・ポリシーおよび利用条件に関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。Cookie とは Web サイトからお客様のブラウザに送信できるデータで、お客様のコンピューターを識別するタグとしてそのコンピューターに保存されることがあります。多くの場合、これらの Cookie により個人情報が収集されることはありません。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的な事項をご確認ください。

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie は無効にできますが、その場合、これらを有効にした場合の機能を活用することはできません。

Cookie およびこれに類するテクノロジーによる個人情報の収集は、各国の適用法令等による制限を受けます。この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、個人情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンド・ユーザーへの通知や同意取得の要求も含まれますがそれらには限られません。

お客様は、IBM の使用にあたり、(1) IBM およびお客様のデータ収集と使用に関する方針へのリンクを含む、お客様の Web サイト利用条件（例えば、プライバシー・ポリシー）への明確なリンクを提供すること、(2) IBM がお客様に代わり閲覧者のコンピューターに、Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置することを通知すること、ならびにこれらのテクノロジーの目的について説明するこ

と、および (3) 法律で求められる範囲において、お客様または IBM が Web サイトへの閲覧者の装置に Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置する前に、閲覧者から合意を取り付けること、とします。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』
<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』を参照してください。

IBM 技術サポートに連絡する前に

資料を参照しても解決できない問題が発生した場合は、貴社の指定サポート窓口から IBM 技術サポートに問い合わせることができます。問題を効率的に首尾よく確実に解決するために、以下のガイドラインを使用してください。

貴社の指定サポート窓口以外の方は、社内の IBM 管理者にお問い合わせください。

注: 技術サポートは API スクリプトの記述または作成は行いません。API 製品の実装に関する支援については、IBM 専門サービスにお問い合わせください。

収集する情報

IBM 技術サポートに連絡する前に、以下の情報を収集しておいてください。

- 問題の性質についての簡単な説明
- 問題の発生時に表示されるエラー・メッセージの詳細。
- 問題を再現するための詳しい手順。
- 関連するログ・ファイル、セッション・ファイル、構成ファイル、およびデータ・ファイル。
- 「システム情報」の説明に従って入手できる、製品およびシステム環境に関する情報。

システム情報

IBM 技術サポートにお問い合わせいただいた際に、技術サポートではお客様の環境に関する情報をお尋ねすることがあります。

問題が発生してもログインは可能である場合、情報の大部分は「バージョン情報」ページで入手できます。そのページには、ご使用のインストール済み IBM アプリケーションに関する情報が表示されます。

「バージョン情報」ページにアクセスするには、「ヘルプ」>「バージョン情報」を選択してください。「バージョン情報」ページにアクセスできない場合は、アプリケーションのインストール・ディレクトリーにある `version.txt` ファイルを確認してください。

IBM 技術サポートのお問い合わせ先

IBM 技術サポートへのお問い合わせ方法については、「IBM Product Technical Support」の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/open_service_request) を参照してください。

注: サポート要求を入力するには、IBM アカウントを使用してログインする必要があります。このアカウントは、IBM カスタマー番号にリンク済みのアカウントにしてください。お客様の IBM カスタマー番号とアカウントとの関連付けについて詳しくは、サポート・ポータル「サポート・リソース」>「ライセンス付きソフトウェア」

エア・サポート」を参照してください。



Printed in Japan